

平成27年度 第1回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年8月19日（水）13：30～15：00
- 2 開催場所 山北支所 会議室
- 3 出席委員 佐藤憲一、齋藤昭夫、富樫保晴、齋藤玲子、渡辺美紀子、加藤英人、齋藤千栄
- 4 欠席委員 齋藤寅二、富樫榮晴、佐藤庄平、板垣茂樹、本間美喜雄
- 5 出席職員 五十嵐支所長、横山産業建設課長  
（事務局） 地域振興課：小田室長、齋藤係長、齋藤主任  
政策推進課：渡辺課長、竹内参事、田村係長、大矢主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

## 平成27年度 第1回山北地区地域審議会 会議次第

・日 時 平成27年8月19日(水)

午後1時30分～

・場 所 村上市山北支所会議室

### 1 開 会

### 2 挨拶(富樫会長)

### 3 報 告

- ・合併市町村基本計画の進捗状況について
- ・第1次村上市総合計画の中間総括について
- ・市民アンケート調査の分析結果について

### 4 議 事

(1) 今年度の地域審議会の進め方について

(2) その他

### 5 その他

### 6 閉 会(佐藤副会長)

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
佐藤 憲一	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 寅二	<input type="checkbox"/>	本間 美喜雄	<input type="checkbox"/>
佐藤 庄平	<input type="checkbox"/>	齋藤 昭夫	<input checked="" type="checkbox"/>	板垣 茂樹	<input type="checkbox"/>
富樫 榮晴	<input type="checkbox"/>	富樫 保晴	<input checked="" type="checkbox"/>	齋藤 玲子	<input checked="" type="checkbox"/>
齋藤 千栄	<input checked="" type="checkbox"/>	渡辺 美紀子	<input checked="" type="checkbox"/>	加藤 英人	<input checked="" type="checkbox"/>

## 会 議 経 過

### 1. 開会 (13:30)

事務局： これより、平成27年度の第1回山北地区地域審議会を開催したいと思います。

### 2. 挨拶

事務局： それでは、富樫会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長： 皆さん、本日はお忙しい中、ご出席をいただき、大変ありがとうございます。

本日は、ほかの会合等により半分強の出席者のようですが、勉強会という意味合いもありますので進めさせていただきたいと思います。

昨年度につきましては、当審議会の要望等を取りまとめ提言したということでありました。また今年度につきましても、市長が変わりまして新たな諮問というものも、まだ具体的には出ていませんが、具体化してきましたら進めていきたいと思います。

当地区におきましては、前大滝市長が病気のため離職され、その後、議長も辞職することとなり大変な地域になってまいりました。そういう中で山北の今後をどうやっていくつもりかというご意見を、あちこちから頂いておりますし、その中で審議会あるいはまちづくり協議会そして産業団体等の中で誰がリードをしていくのかという話もありますけども、ひとつずつ場所にあったものをまとめていって、当地区の振興のために努めていきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。どうもありがとうございました。

事務局： ありがとうございます。

それでは、以降を地域審議会設置に関する協議書第6条の規定によりまして会長から議長を務めていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

### 3. 報告

#### ・第1次村上市総合計画の中間総括について

会 長： それでは、3の報告からお願いします。

まず、合併市町村基本計画の進捗状況につきまして、説明をお願いしたいと思います。

事務局： はじめまして。私は政策推進課長をこの4月から務めさせていただいております渡辺と申します。今日、市長は地域審議会全てをまわりたいとは言っておりましたが、公務が忙しく市長よりメッセージを預かってきましたので、代読をさせていただきます。

第1回の山北地区地域審議会の開催にあたりご挨拶を申し上げます。

本日は公務のため、お伺いできないことをお詫び申し上げます。

まずもって日ごろから当市発展のため格別なるご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

地域審議会委員の皆様におかれましては、市町村合併後の各地域の均衡ある発展のため、それぞれのお立場から積極的なご意見やご指摘をいただき、また

各地域におかれまして、それぞれの地域の先頭に立ってご活躍をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、私は先の市長選挙におきまして市民の皆様からご信託を賜り市長の重責を担わしていただくことになりました。

その選挙の中に多くの市民の皆様とふれあう中で、各地域の現状そして抱える課題等、今まで感じることのできなかつたたくさんのお話をお聞きし、また就任後におきましても、各種会合等において素朴で率直なご意見をお聞かせいただき、あらためてこの村上市を本当に住みやすい、一人一人が幸せを感じることができる地域に変えていかなければならないと感じております。今後も多くの皆様のご意見を頂戴しながら、まちづくりを進める中で、地域審議会は地域を代表する皆様のご意見をいただける場でありますので、熱心なご審議をいただき、私も皆様の声を精一杯市政に反映できるよう努めてまいります。

私は新しいまちづくりの礎となる第2次村上市総合計画の策定作業に着手し、それらについても各地域審議会からご意見をいただく予定としております。この先、市町村合併の総括と内容の深い審議を行っていく必要があります、当審議会はますます重要な会となつてまいります、各地域の発展につながり、ひいては市全体の活性化に結びつくようご審議をいただければ幸いです。

結びに各地域審議会のますますのご活躍と委員の皆様のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成27年8月19日 村上市長 高橋邦芳、代読であります。

今日はよろしく願いいたします。

事務局： 【合併市町村基本計画の進捗状況について説明】

会長： 今、説明いただきました進捗状況について皆さんからご質問等ありましたら、お願いしたいと思います。

委員： 昨年度もお聞きしたかもしれませんが、4番目の施設の老朽化、耐震性の話ですが、検討中なのか、これから検討するのかどちらでしょうか。

事務局： 昨年度の審議会でも、斎藤委員からご質問があったかと思いますが、耐震診断を実施し結果が出ております。昨年度末の報告で耐震工事が必要だという結果が出ております。基本的な工事で概算ですが、校舎の方で約8千万円、体育館の方で約6千万円の耐震化工事が必要であるという、耐震診断に伴う見積が出ております。従来の合併市町村基本計画の段階では耐震という概念が見えてなかった中で、現段階では具体的な着手はしてませんが、ただ平成29年度からの第2次村上市総合計画には盛り込むという方向で動いておりますので、今年度中には具体的な協議があると思っております。

会長： 他には、無いでしょうか。無いようですので次に行きたいと思っております。

・第1次村上市総合計画の中間総括について

事務局： 【第1次村上市総合計画の中間総括について説明】

会長： それでは、皆様方には事前に資料が配布されており検討された方もおられるかと思いますが、何か気になる点等がありましたらお願いします。

- 委員： 3ページの児童公園の施設整備補助金を利用される方が少ないということのようですが、利用実績の数字は出せますか。
- 事務局： 合併後は2件です。うち今年度1件あり、予算は20万円です。制度の見直しは必要であると考えてます。
- 委員： プレミアム商品券や新市長の英断でリフォーム補助金、あと観光バス1台に7万円の補助といった経済効果を狙った形の商売をしている人を対象にしたものは実施されているが、生活者、特に子育て世代への施策が見えてないと思われる。生活者に対する補助も考えていただきたいと思います。
- 会長： ほかに、ございませんか。
- 委員： 基本目標6の2の②ですが、震災とか大きな災害があった場合に、全体の職員の不足等の不安があり、OB職員等を活用できる仕組みをとありますが、この辺はどんなふうに進展していますか。
- 事務局： 具体的な対応については、検討できませんでした。ただ防災の面では今日の新聞に関川村の記事がありましたが、行政OBの方々に防災隊を結成というようなことがありました。消防団員の単なる定数見直しでなく、関川村の例にあるような別な形での対応を考えなければならないという中で、消防本部等との打合せで、今年度中に定数見直しをするということでスタートしましたが、別組織の立上げをとる場合はもう少し時間をかけたいとのこと。こちらとしては今年度中にお願ひしたいということをお話ししています。
- 委員： 消防というよりも、窓口業務なども含めた行政事務全般に支障が出てくると思われます。職員数が減少してるということは災害時などにも対応しきれないだろうと思うので、そういった行政事務一般も含めたOBの活用の仕組みづくりをお願ひしたい。
- 事務局： 即回答ということは無理かもしれませんが、総務課に伝えておきます。
- 委員： 村上総合病院についてですが、平成32年に新病院が建てられるものと思いますが、厚生連も厳しい状況の中で土地問題やインフラ整備、人口規模等にあつた医師の確保などには、村上市も相当の負担が必要と考える。スムーズな進展をお願ひしたい。
- 事務局： 7月議会でも質問等があり市長の答弁の中では最大限の支援をしていくということ。厚生連についても平成32年開院を目指すことを新理事長とも話し合いをしており、基本構想、今後のスケジュール等を決めて打合せを進める意向です。
- 委員： 農業について地域農業活性化検討会等を設けていろいろな検討をされているようですが、具体的にはどのようなことをされてますか。
- 事務局： 地域農業活性化検討会は農業再生協議会の下部組織としての位置づけとっております。
- 委員： 岩船米ブランド戦略、村上牛ブランド戦略等は相当の苦労があり、今後も行政とJAとの連携が重要ですので、よろしくお願ひしたいと思います。
- 事務局： 農業再生協議会自体が行政主体で進めており、当然JAも関わる中で、対応していきたいと思ひます。

会 長： 他には、ありませんか。

委 員： 17ページですが、郷育会議が教育会議となっており、字の間違いがあります。

事務局： 失礼しました。

会 長： ほかに、どうでしょうか。

委 員： 基本目標3-2です。地域審議会からの意見に対し担当課の対応というのがありますが、それについて具体的にお聞きしたい。山北地区は山間地が多く、厳しい地形の中で農林業等に従事しているが、今年春に農林業センサスがありました。今後その成果が反映されていくのか、というのが1点。あと行政のほかにどういう組織が農業等の問題を解決に向け動いているか。

それから地域を考えた場合、農業以外での所得の確保が重要となっておりますが具体的にどのようなものが農業以外の所得と考えておられるのか。また担い手の確保はまだ足りない現状と思いますが、具体的にどのような施策をとっているのか詳細に教えていただきたい。

事務局： 農林業センサスは国の統計調査の一種でして、まとまるのは1年以上後になりますが、統計資料としての活用はしています。

委 員： 事細かな調査でしたし、ぜひ重要視していただきたいと思います。

事務局： 農地の集積等に対する責任組織はとのご質問ですが、県が主導している農地中間管理機構という出し手と受け手の調整をするシステムがあります。現状はうまく機能していないところもありますが、山北の場合、地形条件等が悪いところも多く、それを受けてくれるところが少なく耕作放棄地が増えています。それを少しでも緩和しているのが産業振興公社かと思います。これからも耕作放棄地に対しては受け手を探すことに尽力したいと思います。

委 員： その産業振興公社ですが、耕作放棄地のことも担っているというものの人手不足により依頼されても対応できない、という現状です。職員の給与も一般的な平均より低いと思われれます。そういう問題を改善しないと状況がますます悪化すると思いますし、公社に対してもっと関心を持っていただきたい。

会 長： ほかに。

委 員： 農地水の取組みは記載されているが、中山間地直接支払制度は載っていないが、いい制度であるので市でも推奨していただきたい。

事務局： 別ページに中山間地の件は載っております。基本目標3-4に書いてあります。

委 員： 傾斜の測定方法など申請条件が前より厳しくなっているようですが、大変良い制度であり利活用すべきと思います。

事務局： もっともなご意見と思います。今回の傾斜測定により条件が甘くなったあるいは厳しくなった事例は地域によって差がありますが、旧5市町村で測定方法が違っていたものを統一化したことによるものであり、仕方なかったものと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

委 員： 測り方によって金額が違うなど、疑問に感じるころがあったもので確認したものです。

会 長： 他は、ないでしょうか。

続きまして、市民アンケート調査の分析結果について説明をお願いします。

・市民アンケート調査の分析結果について

事務局： 【市民アンケート調査の分析結果について説明】

会長： 今の報告の中でご質問等ありましたら、お願いします。

委員： 一点お願いですが、アンケート結果について、子育て、働く場の確保、医療体制の3つで大きな問題は概ね解決すると思います。取り組む施策の方向性を総花的なものではなく、重点を絞り込んで実施していただきたいと思います。

会長： ほかは、ございませんか。

委員： ちなみに企業側に意向確認はされてますか。

事務局： 企業には企業アンケートを7月に実施しております。どういう人材を求めているかなど、村上市としては初の取組で市内約500社に調査しています。9月頃にまとまる予定です。ほかにも高校生アンケートも実施しており、取りまとめ中です。

会長： それでは、アンケート調査については終わりたいと思います。

次に議事に入ります。今年度の地域審議会の進め方について議題とします。

#### 4. 議事

##### (1) 今年度の地域審議会の進め方について

事務局： 【今年度の地域審議会の進め方について説明】

会長： 今ほどの説明で、皆様これでよろしいでしょうか。

委員： 事前の資料配布をもう少し早めに届けていただきたい。

会長： 資料の事前配布はなるべく早めをお願いします。資料4につきましては、これで良いですね。

事務局： よろしくをお願いします。

##### (2) その他

会長： 次に、その他なにかございませんか。

委員： 最初に聞くべきでしたが、荒川地区での保育園の指定管理者制度について、当初いろいろ問題点もあったようですが、現在好評を得ているとのことですが、行政の方から総括したお話をいただきたい。

事務局： 3月まで荒川支所長をしておりましたので、私の方から説明します。当初議員の方々はじめ心配の声が多くありましたが、非常に好評でありますし、成功だったと思います。荒川の場合、エリアも小さく条件も良かったかと思います。

委員： 公設民営といったことで良かったのか疑問があったところと思います。その辺について市民にも情報提供願いたい。

会長： ほかにどなたか、ございませんか。

無いようですので、議事の(2)その他はこれで終了したいと思います。では事務局から、その他の進行願います。

## 5. その他

事務局： 会長ありがとうございました。

5のその他について、皆様から何かございませんか。

委員： 山北地区に配属された地域おこし協力隊について、新しい人材が増えて良かったと思います。朝日地区も同様と思います。ただ2人だけでは、地域も離れているし孤立してしまう心配もあり、地域おこし協力隊の増員、2人といわず5・6人を増員できないか。市としても財政負担もそれほど無く推進すべきと思いますが、どうでしょうか。

事務局： 新市長への説明でも打合せしてますし、自治振興課で進めております。地域からも喜ばれているところで、来年度の採用については近々結論が出る予定です。しっかりとした目的意識が重要という中で、複数の4月採用に向けて動いております。

委員： 山北の場合、自治振興室が5人から3人体制に減らされ大変厳しい現状であり、協力隊員が自治振興室の手助けをしなきゃならないようなことになっては困ります。百姓やってみ隊などの活動もあり、協力隊員の活動充実のためにも職員体制も考慮してほしい。

事務局： 地域おこし協力隊を自治振興室のお手伝いにはしてしております。

委員： その他ですが、市職員の集落行事等への参加及び協力は、率先してやってほしいと思います。山北のみならず全地区で、そういう体制をお願いしたい。

事務局： 前支所長から引継ぎを受けておりますし、総代さん方からもそういう声を聞いておりますので、対応したいと思います。

事務局： ほかにはないでしょうか。最後に1件ご報告ですが、村上市ケーブルテレビ放送番組審議会委員について、山北地区地域審議会から学識経験者として斎藤玲子さんがこれまで委員をされていましたが、斎藤昭夫委員が新しく就任されましたので報告します。

ほかは、ないでしょうか。

それでは閉会の挨拶を佐藤副会長からお願いします。

副会長： 慎重審議ありがとうございました。先ほど市の方からありましたように、今後は各地域ごとの方向性を見出すということで、非常に大事なことと感じております。今後4回の会議が予定されてますが、その中で少しでも各地区の活性化につながるような役割を果たせればと思いますので、今後ともよろしく願います。大変ご苦労様でした。

## 6. 閉会 (15:00)